

TRIO

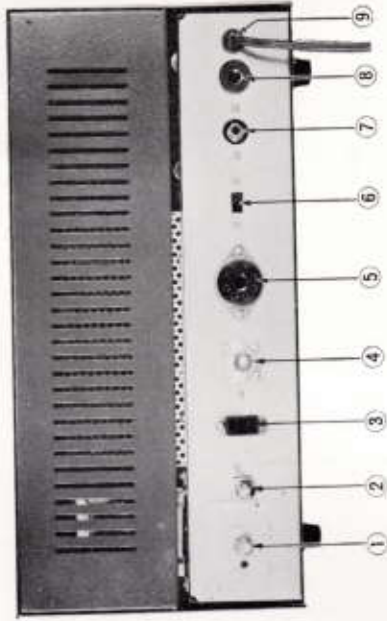
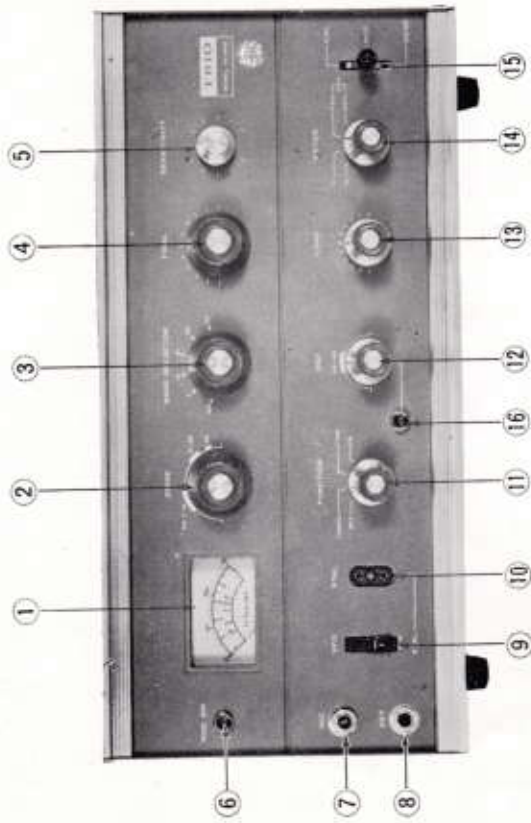
オールバンド送信機

TX-88D

キット取扱説明書



各部の名称と操作



1. メーター

グリッド電流 (I_g)、プレート電流 (I_p)、進行波電圧 (FWD)、反射波電圧 (REFL) を切換えて読めます。

SWR は、FWD と REFL の差により、直読できるよう考慮してあります。

2. DRIVE

連倍段同調バリコンで、送信周波数と同じ周波数に同調します。

パネル面に各周波数の目盛がありますから、とり違ふ心配はありません。

3. BAND SELECTOR

時計方向に 3.5 MHz から 50 MHz まで、6 バ

ンド切換えます。

4. FINAL

終段タンパバリコンで、3.5 MHz から 50 MHz まで、各バンドごとに同調をとります。

800 V 耐圧、200 P のタイト製バリコンを使っています。

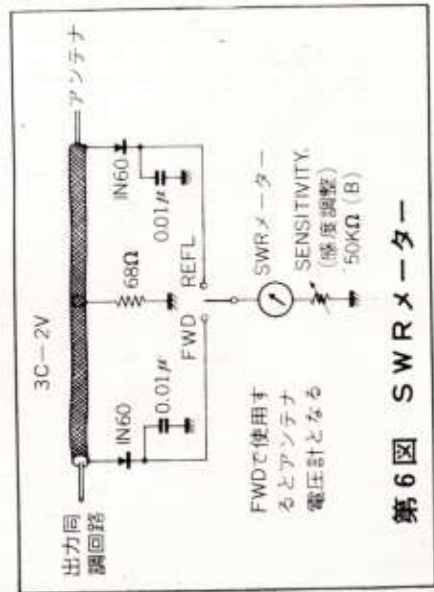
3.5 MHz では最大容量付近を使い、50 MHz ではほとんど抜けた状態になります。

5. SENSITIVITY

SWR メーターの感度調整用の可変抵抗器です。

6. MOD IND

ネオン管を使った、変調度インジケータで、変調度が 90~100% 以上になるとランプが輝きます。



第6図 SWRメーター

